



カキ養殖場の見学 背後に広がる女川湾

榎ノ木

女川町復興への旅

第拾八号

平成31年3月21日発行

青壮年部女性部広報

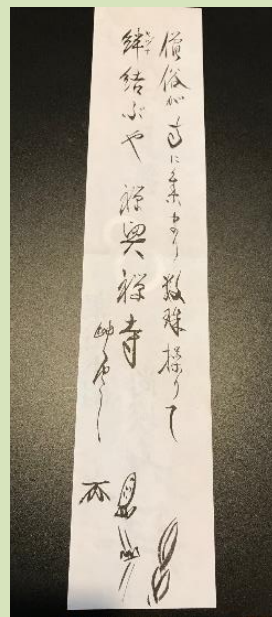
題字：大内翠峰

平成30年11月24日(土)女性部研修に檀家はじめ、樹木葬の皆さん総勢27名の方々が参加されました。女川原子力発電所の見学で、話には聞いていましたが、セキュリティの厳しさ、電気を作る仕組みなど大変興味深く勉強させていただきました。

また、樹木葬会員の婿殿で牡蠣養殖業者石森寛さんの仕事場を見学し、牡蠣汁をご馳走になり皆さん「美味しい」「サイコー」と、おかわりもして楽しみ、帰りにはたくさんのお土産を購入もさせていただきました大変お世話になりました。

震災を乗り越えつつある確かな手応えを感じる充実した研修でした。なかなか復興が進まない中でも前を向いて頑張っている姿に感銘を受けて参りました。

沢渡 早坂 妙子



京都妙心僧堂師家岫雲軒(シユウウンケン)雪丸令敏老大師には、何時も榎ノ木をお送りし、ご高覧戴いております。

そのご感想の御染筆の一句です。

「僧俗が寺に集まり数珠繰りて 絆結ぶや禪興寺」

作り手冥利に尽きる誠に有り難い一句です。



絶品のとれたてカキ汁ごちそう様でした！



被災・復興の状況をビデオと共に説明を受ける

成道会・大般若祈祷



本堂内に轟く「降伏一切大魔最勝成就！」の大音声！



多くの法類和尚様方も参加されました



参加者も般若心経をお唱えしました



手前は副住職竜潭和尚

今年最初の本格的な積雪に見舞われた12月9日、当山禪興寺に於きまして、「成道会大般若祈祷・先住三回忌宿忌」が併修されました。成道会とは約二五百年前、お釈迦様が菩提樹の下で、坐禅をし、お悟りをお開きになられたことを祝す行事です。本来は12月8日に行われる行事です。県内から大領派・法類寺院はじめの多数の和尚様に御出頭頂き、無事執り行うことができました。

お釈迦様は、12月8日の鶏鳴（鶏が鳴く頃、午前二時頃）にお悟りを開かれたことに因み、12月1日から8日鶏鳴までの約一週間を一日と見立てて不眠不休で、全国各地の臨済宗専門道場では、

「臘八大攝心」と呼ばれる年間で最も厳しい修行期間に入ります。この期間中は掃除や畑仕事等の作務もせず、ひたすら坐禅三昧に励むのです。極度の疲労と睡眠不足で意識が朦朧とする中を耐え抜き、無事八日鶏鳴を迎えられて、初めて一人前の雲水として認められる大切な行事です。このように道場では、お釈迦様から伝えられた仏法的一端を担う和尚になるために、現在でも伝統を重んじ、変わらぬ修行を続けているのです。



～布教師様を囲んで～ 涅槃図に込めたご先祖様の願いがよくわかりました！

涅槃会



熱い法話に思わず引き込まれました



朗々と響く竜潭和尚の読経

平成31年2月16日（土）にお釈迦様の命日〔2月15日〕に、その遺徳を偲ぶ「三仏忌」のひとつ「涅槃会」が厳かに行われました。

涅槃会の法要の後には、妙心寺派布教師・仙台市東仙台善應寺住職星大晃師を招いて「涅槃図」の絵解き講話をしていただきました。

正面には明治42年に禪興寺の檀信徒であるご先祖様方が寄進してくださった涅槃図がかかけられました。

この涅槃図には実に様々な物語が込められています。

現代のお葬式に取り入れられている、「北枕」や「末期の水」「四華花」などは、お釈迦様が亡くなられた涅槃の故事（ニルヴァーナ）に因むことや、お母様である摩耶夫人が臨終のお釈迦さまに天上より長寿の薬を届けようと駆けつけてくることを星大晃師は、楽しくお話くださいました。

お釈迦様は、故郷への旅の途中に病氣により命を落としてしまいますが、最後の時まで教えを説き続け「完全燃焼」していたと聞かされ、私達も日々に悔いを残すことなく、生きていかなければならないと感じました。

今年も行事の後には、女性部特製のお汁粉をいただき、心も体も充実した一日になりました。

七ツ森樹木葬に寄せて

樹木葬会員 江野村 美智子

「うちの寺は自然がいっぱいのところなのでカメムシもたくさん出ます。」

瑞巖寺の写経でお世話になった副住職さんのこの言葉にお寺への興味が湧き、インターネットのホームページを開く事となった。

「宮城県 清浄山」と検索をかけてページを開いたところ、「清浄山 禪興寺」と検索結果が出てきた。そしてそこには、一気に心を持っていかれるような風景写真が…

写真の画像はいつまで見ていても飽きなかった。

そして半月後。気づけば禪興寺を訪れていた。

写真画像そのままの風景。

美しかった。

訪れる度に樹木達が話しかけてくれるような優しい風が吹いているのを感じる。季節が冬であったとしても樹々達の色合いにあった風が吹く不思議。

先日訪れた時は、その樹々を抜けたところを7、8羽の白鳥が飛んでいるのを見て驚いた。野生の白鳥が空を飛来するのを見たのは初めてだったから。生き生きしていても優美だと感じた。

心の呼吸がしたいなあと感じる時。

私は禪興寺を訪れる。

そんな風に突然訪れる私に、変わらない優しさで接してくださる住職さん、ご家族の方々、スタッフの方々に本当にありがたいなあと思う。

そして楽しくて考えさせられる法話をしてくださり、カメムシの話で禪興寺との出会いを下さった副住職さんに感謝をしている。

これからこれらの出会いを大切にしていきたい。

七ツ森の樹木達が歳を重ねて大きくなっていくように出会いの縁をずっと大きく紡いでいきたいなあと思っている。





自然に還る 大地に眠る ～七ツ森の風になって～

木を抱き締めて

樹木葬会員 遠藤 眞理子

〔河北新報（平成30年10月10日）読者投書ティータム欄より〕

三度の飯より山が好きだった。

例えば低山でも数十^キの荷を背負い、日々のトレーニングで脚を鍛え、地図の下調べも万全にして、きつい行程すらも楽しんで登っていた。

夫が青森県下北半島の山に行ったきり帰らぬ人になったのは春の初め。デジカメに残した最後の写真はミズバショウだった。

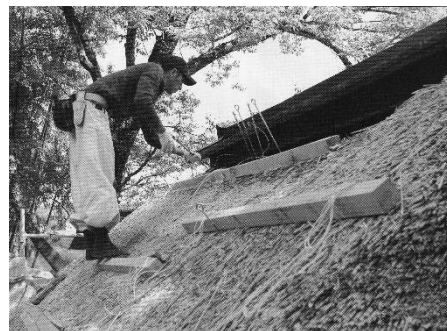
山と森をこよなく愛し、不器用に妻を愛し、自らの生を猛ダッシュで駆け抜けた66年。一家の柱として会社を勤め上げ、責任を無事に果たして4人の娘を成人させ、ようやく第二の人生をスタートして3年目。

趣味にボランティアと、心身共に絶好調の時だった。

奥羽山脈の東側、宮城県大和町の七ツ森麓にある樹木葬に眠る夫に、今日も会いに行く。シンボルツリーに選んだのはコブシの木。精悍でしなやか、生命力にあふれたその木に、私は一瞬で魅せられた。高く真っすぐ伸びて今にも空に届きそう。

両手を回して木を抱き締める。目を閉じて耳を澄ます。さらさらと風にそよぐ葉っぱ。木漏れ日がキラキラと私を包む。木を抱き締める。夫を抱き締める。

昨年当山茅葺き山門の葺き替えを施工してくださった小林功氏が、宮城県商工建会報に掲載されましたので、抜粋してご紹介させていただきます。



薄屋茅功

【創業のきっかけ】

私の出身地である静岡県の富士山の麓には日本一広大な茅場が広がっています。15年前、「かやぶき」の魅力にひかれて、石巻市でかやぶき職人として働き始め、「かやぶき」に秘められた「先人たちの知恵」と「自然の力」に気づかれました。

宮城県内には、手つかずのヨシ、良質な稲わら、きれいな水、豊富な生き物、素晴らしい風景がまだ多く残っています。この豊かな自然を守り未来に継承していきたいという想いから、この地で事業を立ち上げる決意をしました。

【創業に向けた取り組み】

登米市内の三商工会が共同開催している「創業チャレンジセミナー」を受講し、経営の基礎を学ぶとともに、事業への想いを込めた創業計画書を作成しました。

「登米市ふるさと創生ベンチャー企業支援事業補助金」の採択を受け、設備導入やホームページの開設等、創業計画を基にして事業を進めているところです。

【将来の展望】

かやぶき職人は資源を有効活用し「景観を作る仕事」でもあると思っています。しかし近年、屋根ぶき職人は高齢化が進み、後継者不足に陥っていることから、少しでも早く事業を軌道に乗せ、若い人材の雇用と育成に力を入れて伝統を継承していきたいと考えています。

仙台臨済会涅槃会特別講演

反町中 佐藤 彰



2月12日、講師は「浦上隠れキリシタン」中心人物の高木仙右衛門氏のひ孫で上智大学グリーンフケア研究所特任所長高木慶子先生でした。「キリスト教の修道女が禅宗の講演会講師で皆さん方も不思議な感じに思われるでしょう」と冒頭に笑いを誘われてからお話をスタートされました。

悲嘆にある人々の心のケアに携われた経験を基に、楽しく分かりやすいご講演を拝聴してまいりました。

今後の行事予定

- ◎3月24日(日) 午後4時 春彼岸 境内墓地清掃
- ◎5月19日(日) 子育て地藏祭り、花祭り(降誕会)、法話
- ◎6月2日(日) 副住職仏前結婚式於本堂
- ◎6月5日(水) 大領義猷和尚毎歳忌
- ◎6月青壮年部・女性部総会
- ◎8月11日(日祝) 孟蘭盆施餓鬼会
- ◎8月 お盆後 境内墓清掃

編集後記

平成がもつすぐ終わり、5月1日には、新元号に変わります。

平成最後の会報「樞ノ木」第18号発行にあたりまして、多くの皆様に原稿を賜り衷心より御礼申し上げます。

【ご意見・ご要望等】ございましたら広報部までお寄せ下さい。

部長 小川弘吉
副部長 相澤敏晴
部員 佐藤 彰 早坂妙子

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部
〒九八一・三六二五
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三